

# 平成28年度沖縄借料予算が「1.23%増」で決定される



発行所  
一般社団法人  
沖縄県軍用地等地主会連合会  
北谷町字桑江129番地4  
発行人 比嘉宏仁  
電話 (098) 923-2258  
FAX (098) 923-2257

土地連ホームページ

土地連 検索  
www.okinawa-tochiren.jp

## 主な紙面紹介

- 1面 平成28年度沖縄借料予算が「1.23%増」で決定される
- 2面 平成28年度における本会の活動について

政府は、平成27年12月24日の閣議において、「平成28年度一般会計歳入歳出概算について」と「平成28年度税制改正の大綱について」を決定しました。この閣議決定に基づき、平成28年度の沖縄県の駐留軍用地等の借料予算は、「対前年度比1.23%増」の約990億2千万円となることになりました。

なお、予算と法律の改正は、最終的に国会での審議を経て成立することになりますが、本会では、関係機関と連携を密にしながら、要請、政策提言活動に取り組みていきます。

### 「総会」の決定に基づき要請活動を展開

平成28年度の借料の要請については、平成27年6月26日に開催された「第92回定時会員総会において、次のとおり決定されました。

「平成28年度軍用地等借料の増額措置」  
 〇要求額1014億円  
 〇前年比4.4%増(43億円増)  
 〇要請活動は、本会の役員が平成27年6月29日に沖縄防衛局長、7月8日に防衛



原田防衛大臣政務官へ要請書を手交する眞喜志会長



県選出国會議員へ要請書を手交する眞喜志会長(写真はかけはしの会)

本要請に当たっては、これまで、「評価地目の適正な見直し」を実現するため、段階的に実現可能な要求額を算出し、要請していくことを基本的な考え方として決めてきたものであります。平成28年度の要求についても、この考え方を継続させ、評価地目や借料の支払単価の見直しに向け、前年度未達成額も併せて要求していくことになりました。

要請活動は、本会の役員が平成27年6月29日に沖縄防衛局長、7月8日に防衛省において要請を行いました。要請では、三役が原田防衛大臣政務官に面会し、眞喜志会長から要請の趣旨を述べ、大臣宛の要請書を手交しました。その後、役員全員で柗賀施設管理課長、三役において、中島地方協力局長と面談し、地権者や地主会を取り巻く情勢や地域の実情を踏まえながら評価地目の見直しの必要性について、訴えました。

さらに、翌9日には県選出国會議員を訪問して、防衛省へ要請した内容を説明

### 更なる交渉の結果、概算要求額が決定

防衛省は、本会に対して8月4日、平成28年度借料予算について、閣議了解された「平成28年度借料の概算要求に当たっての基本的な方針について」に基づき、沖縄の借料予算の概算要求額として、「対前年度比1.05%増」(約10億8千万円増)を提示しました。

しかしながら、本会から要請した「対前年度予算比4.4%増(43億円増)」とは大きくかけ離れたものであったことから、本会では、理事会を開催し、防衛省からの提示額について協議を行った結果、更なる上乗せを求めていくため、上京して要請活動を実施することを決定しました。

防衛省への要請は、8月19日に全役員が上京して行われました。要請では、面

談した柗賀施設管理課長に対し、眞喜志会長から、提示のあった概算要求額は受け入れることができず、上乗せを求めて上京した旨を報告し、再考を促しました。それに対して、防衛省側から「対前年度比1.10%増」の提示を得たことから、同日、現地で開催した理事会を開催し、その対応について協議しました。その結果、更なる上乗せを目指すこと、交渉は三役に一任すること、これを決定し、三役が再交渉に臨むこととなりました。

三役は、8月20日に中島地方協力局長と面談し、更なる上乗せを強く求めました。その結果、「対前年度比1.23%増」(約12億円増)の提示を受けたことから、三役は最終的にこれを受け入れることを表明し、その後、全役員へも同提示額にて最終的に妥結した旨を報告しました。

こうした要請活動を行ってきた結果、防衛省は8月25日に、本会と妥結した提示額のとおり概算要求額が決定したことを次のとおり発表しました。

## 「平成28年度概算要求額(沖縄借料)について」

- 〇予算案 約990億2千万円
- 〇前年比 1.23%増(約12億円増)

## 政府案は概算要求額どおり満額を確保

平成28年度の政府予算は、平成27年12月24日に編成されました。本会では、この間、概算要求額が政府案として満額確保できるよう、関係機関と情報、意見を交換を行ってきました。

予算が閣議決定される見通しとなったことから、三役は上京して、要請を行い

ました。防衛省へは、平成27年12月21日に中島地方協力局長を訪問し、そこで概算要求額通り確保できた旨の説明を受け、眞喜志会長から、予算確保へのお礼を述べ、引き続き国会にて予算が成立するよう、協力を求めました。



予算確保の要請で中島地方協力局長を訪問した三役

# 平成27年度における本会の活動について

## 組織の持続的な発展に向けて —組織運営検討委員会発足—

本会では、これまで担ってきた本会の「歴史的な役割、機能を踏まえ、今後の組織運営の持続的な発展に向けた検討を行う」ということを目的として、平成27年8月14日に組織運営検討委員会を設置しました。本委員会は、本会役員及び市町村会員をもって構成することとし、初会合では、眞喜志会長から委員5名へ委嘱状が交付され、また、委員長として宮城健英氏が選任されました。

第2回(平成27年10月19日)の会合では、委員として新たに松川正則(宜野湾市副市長が就任し、眞喜志会長より委嘱状が交付されました。

本委員会は、これまで2回開催され、検討を行う方法として、第1回で、会員がどのような問題を抱えているのか、を抑える必要がある、として、アンケート調査の実施が提案され、第2回では、その内容と対象者について、検討が行われました。

- 委員は写真左から
- 委員：山城善彦(土地連理事)
  - 委員：金城敦(土地連理事)
  - 委員長：宮城健英(土地連理事)
  - 委員：當眞淳(宜野座村長)
  - 委員：松川正則(宜野湾市副市長)
  - 委員：比嘉正道(土地連理事)

## 税理士、司法書士への無料相談 —「土地連共済相談会」開催—

9月13日に豊見城市立中央公民館、9月27日に名護市産業支援センター、10月25日に宜野湾市のジュビランスにおいて、「土地連共済相談会」が開催され、約350名の来場者数を記録しました。

同相談会では、沖縄税理士会、沖縄県司法書士会より、相続・遺言・贈与等に関するセミナーが行われたほか、希望者を対象とした無料個別相談が行われました。

個別相談ブースでは、沖縄税理士会、沖縄県司法書士会による相続等に関する相談、金融機関による土地連共済制度を利用した融資に関する相談が行われ、全地区合わせて約100件の個別相談が行われました。

参加者からは、「専門の方に相談できてよかったです。」「周りからの知識だけで判断しないでよかったです」といった声もあり、好評のうちに終わることができました。



喜納税理士によるセミナー(10月25日、宜野湾市)



## 宜野湾市、読谷村地主会へ 「返還跡地助成金」交付

土地連会議室において、全役員立会いのもと、宜野湾市地主会(又吉信一会長)へ77万円(平成27年5月25日)、読谷村地主会(比嘉正道会長)へ22万1,000円(平成27年11月19日)、の計99万1,000円を交付しました。

この助成金は「市町村地主会の返還跡地にかかる対策を支援することにより、返還跡地の円滑な利用を促進する」ことを目的とした規程に基づく財政的支援です。

今回は、平成27年3月31日付で返還されたキャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)の返還跡地約51万㎡、平成27年9月30日付で返還されたトリー通信施設一部の返還跡地約3万㎡を対象にしました。

なお、今回の交付は、前号(第56号、平成27年8月24日発行)において、ご案内しました通り、今年度から、交付時期に「返還前」と「引渡後」が追加されたことから、両地主会とも「返還前」分の交付となります。

今回の交付を受け、「経費のないところ、大変助かる。有効に組織運営に使っていきたい。」(又吉宜野湾市地主会長)、「財政的に苦しい中、助成いただき大変助かる。跡地利用のため有効に活用したい。」(読谷村大木・大湾地区跡地利用推進地主会砂辺副会長)との感謝の言葉がありました。



宜野湾市地主会への交付



読谷村地主会への交付  
(手交は同席の大木・大湾地区跡地利用推進地主会)

## 軍用地問題に関する資料を展示 —土地連会館展示フロアのご案内—

土地連会館では、創立60周年に伴い、会館入口右手に展示フロアを設置しました。

本フロアの設置にあたり、本会では、米軍による土地の接収から返還後の跡地利用までの時系列に沿ったパネルや本会初代会長である桑江朝幸氏の特集、沖縄県全体の発展にも寄与された山中貞則氏の特集を製作しました。

そのほかにも、軍用地問題に関する古書や桑江朝幸氏の胸像の展示、軍用地関連図書とその閲覧スペースなどを設けております。

パネルについては、当時の経験を風化させないことを目的とし、「小学校高学年程度から理解できるわかりやすい内容」を前提に製作に努めました。また、文字や写真といった説明だけではなく、軍用地に係る諸問題が身近なものであることを理解していただくために、古書等についても、現物を展示することとしました。

今後も本フロアの充実化に努めてまいります。お持ち帰りできる資料等も用意しておりますので、ぜひ土地連会館展示フロアへお立ち寄りください。



展示内容の一部



桑江朝幸胸像